

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成26年7月24日(2014.7.24)

【公表番号】特表2012-512289(P2012-512289A)

【公表日】平成24年5月31日(2012.5.31)

【年通号数】公開・登録公報2012-021

【出願番号】特願2011-541181(P2011-541181)

【国際特許分類】

C 0 8 F 4/6592 (2006.01)

C 0 8 F 10/00 (2006.01)

C 0 8 F 4/70 (2006.01)

C 0 8 F 4/02 (2006.01)

【F I】

C 0 8 F 4/6592

C 0 8 F 10/00 5 1 0

C 0 8 F 4/70

C 0 8 F 4/02

【誤訳訂正書】

【提出日】平成26年6月4日(2014.6.4)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

担体上に少なくとも 2 種類の異なる活性触媒成分を含む、非極性オレフィン性化合物の重合用触媒系を製造する方法であって、

(A) 第 1 の温度においてハフニウムまたはジルコニウムを含む第 1 の活性可能な触媒成分を活性化し；

(B) 第 1 の温度よりも少なくとも 15℃低い第 2 の温度において鉄を含む第 2 の活性可能な触媒成分を活性化する；

工程を含む上記方法。

【請求項 2】

(C) 担体上に触媒成分を担持させる；
工程を更に含む、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

活性化及び担持を非プロトン性溶媒中で行う、請求項 2 に記載の方法。

【請求項 4】

工程 (A) で得られた第 1 の活性化された触媒成分を前段の担持工程において担体に施し、工程 (B) で得られた第 2 の活性化された触媒成分を後段の担持工程において担体に施す、請求項 2 又は 3 に記載の方法。

【請求項 5】

前段の担持工程の後で且つ後段の担持工程の前に、乾燥工程において担体を乾燥する、請求項 4 に記載の方法。

【請求項 6】

第 1 の活性化工程を 0～70℃の温度において行い、一方、後段の活性化工程を－40℃～50℃の温度において行う、請求項 1～5 のいずれかに記載の方法。

【請求項 7】

前記第 1 の活性可能な触媒成分がハフノセンであり、前記第 2 の活性可能な触媒成分が鉄コンプレックスである、請求項 1 ～ 6 のいずれかに記載の方法。

【請求項 8】

用いる担体成分がシリカゲル又は焼成ハイドロタルサイトである、請求項 1 ～ 7 のいずれかに記載の方法。

【請求項 9】

請求項 1 ～ 8 のいずれかに記載の方法によって得られる触媒系。

【請求項 10】

エチレンを重合又は共重合するための請求項 9 に記載の触媒系の使用。

【請求項 11】

請求項 9 に記載の触媒系の存在下で行うオレフィン重合方法。

【請求項 12】

エチレンを場合によっては他のオレフィンモノマーと共に（共）重合するための請求項 11 に記載の方法。